【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2017-7194(P2017-7194A)
【公開日】平成29年1月12日(2017.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2017-002
【出願番号】特願2015-124328(P2015-124328)
【国際特許分類】
Ｂ４２Ｄ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４２Ｄ　11/00　　Ｅ
Ｂ４２Ｄ　11/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成30年6月19日(2018.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明は、第１の基材と第２の基材とが重ね合わせられて構成されるラベル伝票であって、前記第１の基材及び前記第２の基材から分離が可能に設けられ、配送物に貼りつけた際に当該配送物との間に同梱物を保持可能な空間が設けられるよう、当該第２の基材と対接する面の一部に粘着剤が塗布された基材片である伝票部基材片と、前記第１の基材及び前記第２の基材から分離が可能に設けられ、当該第１の基材と当該第２の基材とが対接する側の面に粘着剤が塗布された基材片であるシール基材片と、前記シール基材片と同じ基材に設けられ、当該シール基材片と共に分離でき、当該シール基材片の粘着剤の塗布された面に対応させて重ね合わせられるよう、前記第１の基材と前記第２の基材とが対接する側の面に剥離剤が塗布されている基材片である台紙基材片を更に備えることを特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の基材と第２の基材とが重ね合わせられて構成されるラベル伝票であって、
前記第１の基材及び前記第２の基材から分離が可能に設けられ、配送物に貼りつけた際に当該配送物との間に同梱物を保持可能な空間が設けられるよう、当該第２の基材と対接する面の一部に粘着剤が塗布された基材片である伝票部基材片と、
前記第１の基材及び前記第２の基材から分離が可能に設けられ、当該第１の基材と当該第２の基材とが対接する側の面に粘着剤が塗布された基材片であるシール基材片と、
前記シール基材片と同じ基材に設けられ、当該シール基材片と共に分離でき、当該シール基材片の粘着剤の塗布された面に対応させて重ね合わせられるよう、前記第１の基材と前記第２の基材とが対接する側の面に剥離剤が塗布されている基材片である台紙基材片を更に備えることを特徴とするラベル伝票。
【請求項２】

前記シール基材片と前記台紙基材片とは、分離が可能に連接されていることを特徴とする請求項１に記載のラベル伝票。
【請求項３】
前記シール基材片と前記台紙基材片とは、連接する境界の近傍に沿って折りたたまれた際に、粘着剤の塗布された面と剥離剤の塗布された面とが重ね合わさるよう設けられていることを特徴とする請求項2に記載のラベル伝票。
【請求項４】
前記シール基材片の前記第２の基材と対接する側の面の一部には、粘着剤が塗布されていない領域が含まれることを特徴とした請求項1乃至３のうちいずれか1項に記載のラベル伝票。
【請求項５】
前記シール基材片の粘着剤が塗布されていない領域には、当該シール基材片の外周縁と交差する方向にミシン目が設けられていることを特徴とする請求項４に記載のラベル伝票。
【請求項６】
前記シール基材片に塗布されている粘着剤は、当該シール基材片を、再剥離可能に貼り付けられる粘着剤であることを特徴とする請求項１乃至５のうちいずれか１項に記載のラベル伝票。